

2020年に向けた文化イベント等の在り方検討会について

2020年に向けた文化イベント等の在り方検討会の概要

「日本の文化力」

=世界に誇る
我が国の
最大の資産



【2020年までの目標】

「文化の力」で世界の人々を魅了し、全国津々浦々で文化プログラムを実施。

【2030年までの目標】

真の「文化芸術立国」の実現。日本文化を求めて来日する外国人が日本全国で増加。



目標実現のための具体的な事業内容等の検討

2020年に向けた文化イベント等の在り方検討会

2020年に向けて魅力ある文化イベント等を全国展開するための具体的なアイデアについて委員より提案していただく。

(主な観点)

- 全国の文化イベント等を推進・普及するため国内外に効果的に発信していく方法
- 地域の文化を掘り起こし活用・発信することにより地域活性化を図る方法
- 既存の文化庁主催等の文化芸術関係事業をブラッシュアップする方法
- 2020年に向けた文化イベント等の新しい提案 等

検討のスケジュール

- 第1回 12月17日(水)
文化庁等より2020年オリンピック・パラリンピック東京大会及びその後を見据えての文化政策等についてを説明及び各委員によるコメント
- 第2回(2月)～第4回(4月)
各委員からの具体的なアイデアの提案

これまでに御提案頂いた具体的なアイデアの例

- 「アートサイト日本2020 without TOKYO」全国各地の文化的リソース2020件(各都道府県約40件)を選出し、世界にアピール
- 「クリエイティブ・フロント東京/日本」国内外のアーティストに新作委嘱を大々的に実施
- 「日本人は皆アーティストだ！」1000万台のピアノ演奏, 250万人の歓喜の歌, 日本縦断BON DANCE
- 「守破離」をキーワードとした文化イベント
- 世界をリードする文化発信地「ポップカルチャー特区」
- 《太陽の島ー五輪亀島》ー五輪人工島プロジェクト(仮)ー:文化施設を内包した亀型の人工浮島(メガフロート)を制作し、全国を周遊
- 地方にある日常のモノ(農林水産物, 文房具等の地域商品)をスーベニアにすることにより地元の産業や農業を育成
- 常勤の芸術監督及び劇場専属集団をもつ「創造発信型」劇場への重点支援を通じて、地域独自の文化芸術を世界に発信
- 1シーズンで日本を1周, 1年に日本を4周する「JAPAN FURUSATO CRUISE」の提案。地域を「星」で格付けし、そのセレクトによって、四季ごとの新コースを設定
- 共通テーマを設けて、「公募」と「指名」の両方で実施するプログラムの提案
- 「PixCell(情報化されたものたち)」「DRONE(浮遊素子)」「DASHI(山車)」「THRONE(玉座)」等をテーマとし最先端技術を活用した文化イベント等の提案
- 「国の新システムを創る提案」教育, 税制, 雇用に関する提案

今後の展開

- 第4回の検討会を4月22日(水)に開催
- 検討会委員の協力を得ながら、具体的なアイデアを実践

2020年に向けた文化イベント等の在り方検討会の開催について

平成26年12月9日

文化庁長官決定

1 趣旨

「日本の文化力」は、世界に誇る我が国の最大の資産であり、この資産を維持、継承、発展させることはもとより、日本人自身がその価値を十分に認識した上で、国内外への発信を、更に強化していく必要がある。

東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年には、スポーツのみならず、文化の力で世界の人々を魅了し、文化プログラムを日本全国津々浦々で行うことを目指している。そして、2020年を契機として、文化を通じた世界の人々の往来、交流を日本国中に生み出し、2030年頃には、「文化芸術立国」になることを目標としている。

こうした目標の実現を目指し、2020年に向けた文化イベント等の在り方を検討するため、文化庁長官の下に「2020年に向けた文化イベント等の在り方検討会」を開催する。

2 検討事項

- (1) 2020年に向けた文化イベント等の全国展開について
- (2) その他

3 方法

- (1) 本検討会は、別紙に掲げる委員をもって構成する。
- (2) 必要に応じて、委員以外の協力を得ることができる。

4 その他

本件に関する庶務は、文化庁内各課及び参事官の協力を得つつ、長官官房政策課において行う。

2020 年に向けた文化イベント等の在り方検討会委員

(平成 27 年 2 月 4 日現在)

池坊 由紀	華道家元池坊次期家元
漆 紫穂子	品川女子学院校長
大西 麻貴	建築家
金森 穰	演出振付家, 舞踊家, りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館舞踊部門芸術監督
鎌田 由美子	カルビー株式会社 上級執行役員
小山 薫堂	放送作家, 脚本家
佐藤 卓	グラフィックデザイナー
紫舟	書道家
セーラ・マリ・カミングス	株式会社文化事業部代表取締役, NPO法人桶仕込み保存会代表理事
関口 光太郎	造形作家, 特別支援学校教員
デービッド・アキンソン	小西美術工藝社代表取締役社長
名和 晃平	彫刻家, 京都造形芸術大学准教授, SANDWICHディレクター
蜷川 実花	写真家, 映画監督
野村 萬斎	狂言師, 世田谷パブリックシアター芸術監督
藤沢 久美	シンクタンク・ソフィアバンク代表
増田 セバスチャン	アートディレクター
皆川 明	ミナ ペルホネン デザイナー
ヤノベ ケンジ	現代美術作家, 京都造形芸術大学教授
吉本 光宏	株式会社ニッセイ基礎研究所 研究理事